

## 今月の担当：クワチ・デイビッド

(ALTの原文を掲載しています)



Greetings, Kamijima! David here. How was New Year for you? Were you able to get plenty of rest? For me, I went back to Sydney. When I told my friends, many asked me if New Year's in Australia is different, so I want to take this opportunity to tell you about it.

For me, I think that Japan is much more active compared to Sydney. Not only are there many different customs, everything has a deep and cultural meaning. For Japan, New Year's is about cleaning, decorations, New Year's Cards and shrine visits, among many other things. On the other hand, Sydney doesn't at all. On New Year's Eve, many people gather around the Harbor Bridge and the Opera House while drinking, playing and waiting for the New Year. A few moments before the New Year, a countdown will begin followed by fireworks.

However, my family does things a bit different. Because we are originally from Vietnam, we follow the Lunar calendar and celebrate New Year mid-February. During this time, we have cleaning, osechi-like cooking as well as red pocket money. We can all agree that kids look forward to this the most. I don't know what it is like in other countries, but in Vietnam you can keep receiving red pocket money until marriage, and only from married couples. Many may think this is a good thing, but in actual fact, it's not a very good image.

It's been a year since I've been in Sydney, but was able to have a very fun-filled winter break. Now that I am well-rested, I will work even harder than before and take on whatever challenge 2016 may bring. I hope 2016 will also be a good year for you!

### 英会話教室

《弓削》	毎週月曜日	19:30 ~	弓削地域交流センター
《生名》	毎週月曜日	9:00 ~	生名公民館
《岩城》	毎週木曜日	20:00 ~	岩城総合支所庁舎
《魚島》	毎週水曜日	19:30 ~	魚島開発総合センター

### お正月の過ごし方

上島町のみなさん、こんにちは。デイビッドです。今年のお正月はいかがでしたか。ごゆっくりできましたか。実は、お正月にシドニーに帰っていました。友達に、オーストラリアと日本はどう違うかとよく聞かれたので、皆さんにも知ってもらいたいの、シドニーと僕の家族の過ごし方について書かせていただきたいと思います。

シドニーと比べたら日本の方が大イベントだと僕は思います。様々な習慣があるうえに、すべての行動は深い意味をもっています。お正月と言えば、年末の大掃除をはじめ、飾り（門松、鏡餅、しめ飾り）、年賀状、初詣などたくさんの方がいます。その一方、シドニーはこういう習慣は全くありません。新年の前夜にたくさんの方がハーバーブリッジとオペラハウスの辺に集まって、お酒を飲んだり、遊んだりしながら、新年を待っている状態です。迫ってくると、カウントダウンが始まって、花火が打ちあがって終わります。

しかし、僕の家族は少し違います。元々はベトナム出身なので、旧暦に従ってお正月を2月中旬ぐらい祝っています。この時期に、大掃除をはじめ、おせち料理のような食べ物、お年玉などの習慣があります。お年玉をもらうのは子供たちが一番楽しみにするものですね。他の国のことがよく分かりませんが、ベトナムの場合は基本的に結婚するまで、既婚者（両親・親戚等）からもらえることができます。これはいいなと思われる方もいるかもしれませんが、実際はあまりよくないイメージです。

1年ぶりにシドニーに帰って、大変充実した冬休みを過ごせました。ゆっくり休めたので、今年はさらに頑張って、2016年を充実させたいと思います。みなさん、今年1年よい年にしてください！

### ALTコーナー英文音声ファイルURL

<https://soundcloud.com/kouhou-kamijima>

右記のQRコードにアクセスすると、ALTコーナーの英文のリスニングができる音声ファイルが利用できます。



こんにちは  
町長です



「地方創生」といわれても、その内容や法的な位置づけなど、分からないことが多いのではないかと思います。上島町行政の立場としては、議会をはじめとする各種団体の皆様と「上島町総合戦略等推進会議」により協議を重ね、上島町版「人口ビジョン」「総合戦略」を国に提出します。その中で効果の高い施策を国が支援する、という流れです。しかし、これはあくまでも事務的な動きであり、地方創生にとって本当に大切なのは、「ふるさとを磨く」ということではないでしょうか。

昨年のかみじま音楽祭に出演してくれた「家入レオ」さんは、ライブの後半で涙ぐんでいました。それは、十六歳で上京し厳しい歌の世界で成功された彼女が、上島町民の純粋な優しさに触れ、「昨日今日と得たものが多すぎて」という発言があったように、「真の豊かさ」に気づいた「感動」の表れでした。

「地方創生」に乗り遅れまいとして、他の自治体と同じことをしても意味はなく、都会の利便性や華やかさだけを追い求めても地方が輝くことはありません。少子高齢化が続く中、インターン生やサイクリスト、ヨット・クルージング客など、今後は交流人口も大切になってきます。それら町外の方々が求めているのは「美しい風景と厚い人情」ではないでしょうか。上島町にはそれが備わっています。幸いにも人口減少率が低くなっているのは、愛媛県下で新居浜市と上島町のみです。「上島プライド」で今年も歩んで行きましょう。

上島町長 上村俊之